

「プラザIMS」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

その不調、 薬局で解決できるかも？



OTC医薬品という言葉を知っていますか？



OTCとはOver The Counterの略でカウンター越しに薬を販売する形に由来しています。主に医療機関などで医師が処方をする医療用医薬品とは異なり、薬局・薬店・ドラッグストアなどで処方箋なしで購入できる医薬品(要指導医薬品+一般用医薬品)のこと指します。

今回は様々な場面で繰り広げられる会話からOTC医薬品について学んで行きましょう。

職場にて



Aさん 「なんだか最近鼻水がとまらないんだよね。」

Bさん 「風邪？それか花粉症とか。病院行った方がいいんじゃない？」

Aさん 「うーん。風邪っぽくはないんだよ。確かに花粉症っぽいかも。病院に行くほどでもない気はするし、市販薬とかでなんとかならないかな。」

Bさん 「でも病院でだしてもらった薬の方が効果強そうだし、病院行った方がいいと思うよ。」

Aさん 「うーん。すぐには病院いけないし、仕事終わってから近所のドラッグストア行ってみようかな。」

さて、みなさんは体調を崩した時にどのような対応をしていますか？



病院やクリニックなどの医療機関を受診し、医師の診察を受け、処方箋をもらい、薬を受ける方、薬局やドラッグストアに行き、OTC医薬品を購入して対応する方もいらっしゃるかと思います。一概にどちらが正しいということはありませんが、本当に医療機関を受診するほどの事態であるのかは心の隅においておくことが大切です。

それでは続きを見ていきましょう。

ドラッグストアにて



Aさん 「すみません。ちょっと鼻水がとまらないのですが、何かいい薬はありませんか？」

Cさん 「はい。それでは登録販売者(一般用医薬品のうち第二・三類医薬品の販売ができる専門資格を持った人)の Dさんをお呼びいたします。少々お待ちください。」

Dさん 「お待たせいたしました。登録販売者の Dと申します。今回はどうされましたか？」

Aさん 「はい。鼻水がとまらなくって、熱とかだるさはないです。前に花粉症って言われたことがあって、その時の症状に少し似ている感じがするんですよね。眼は元々花粉症って言われた時も痒みでなかったです。なので、鼻水だけって感じです。あと、花粉症の薬っていうとアレルギーの薬ですよね。眠くなりにくいのがあればそれがいいです。」

Dさん 「なるほど。症状を聞く限りは花粉症の可能性は高そうですね。鼻水を抑える薬がございますのでご案内いたします。こちらは抗アレルギー薬であるアレグラFX®という **OTC 医薬品**になります。眠気も比較的でにくいお薬になりますよ。」

Aさん 「眠気がでにくいのはありがたいです。あと、ちょっと聞きにくいのですが、ドラッグストアで購入できる薬って病院やクリニックで貰える薬より効果が弱いって聞いたことがあるのですが、本当ですか？」

Dさん 「それは誤った情報ですね。確かに **OTC 医薬品** は処方箋を必要とせず購入することができる、医療用医薬品より効果が弱い印象があると思います。しかし今回紹介したお薬のように医療用医薬品と成分や含有量が同一のものもあります。つまり、**OTC 医薬品** は効果が弱いから用法用量を守らなくていいのだという考えは副作用のリスクを増大させてしまうため危険だということもご理解いただけるかと思います。」

Aさん 「そうなのですね！ 初めて知りました。色々とありがとうございました。」

Aさんのように **OTC 医薬品** は医療用医薬品に比べて効果が弱いと考える人も少なくはないのでしょうか。確かに医療用医薬品に比べて **OTC 医薬品** は同一成分でも含有量が少ない場合も見られます。しかし、同一含有量のものや医療用医薬品よりも含有量が多い **OTC 医薬品** も多くあります。

そのため OTC 医薬品であってもしっかりと用法用量を適切に守りましょう。



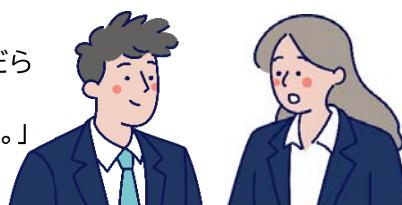
職場にて

Bさん 「鼻水どう？」

Aさん 「ドラッグストアの登録販売者の人にお勧めされた薬のんだらよくなってきたよ。

色々と聞きたいことにも丁寧に対応してくれて良かったよ。」

Bさん 「そうなの！ 私も今度行ってみようかな。」



今回は **OTC 医薬品** に関して簡単ではありますが色々と学んでいただきました。

医療費の増加や医療用医薬品の出荷調整といった不安定な情勢のなか、医療用医薬品だけではなく、**OTC 医薬品** という選択肢もあるということを理解していただければ幸いです。また、セルフメディケーション税制といった控除の制度もございますので機会があればご利用ください。

OTC 医薬品 では対応が困難と判断される場合は医療機関への受診勧奨も行うことがあります。気軽に相談してみましょう。

おまけ(様々な OTC 医薬品)

■スイッチ OTC／医療現場において安全性および有効性が認められ、OTC 医薬品として販売が許可されたもの。種類は多数ある。

例:ガスター10®(主成分:ファモチジン)、アレグラ FX®(主成分:フェキソフェナジン)、イブA®(主成分:イブプロフェン)

■ダイレクト OTC／医療用医薬品として販売されずに直接 OTC 医薬品として販売が許可されたもの。種類としては少ない。

例:ミノキシジル、プレミフェン®(主成分:チエストベリー乾燥エキス)、アンチスタックス®(主成分:赤ブドウ葉乾燥エキス混合物)

医師紹介

Introduction of Doctor

消化器外科 部長

大佛智彦 おさらぎ ともひこ

消化器外科

Gastrointestinal surgery

このたび、イムス三芳総合病院の消化器外科に着任しました、大佛智彦（おさらぎ ともひこ）と申します。初めて会う人から「作家の大佛次郎と親類ですか」と聞かれますが、血縁関係はありません。

これまで外科医として、岡山大学とその関連で9年間、神奈川がんセンターで3年間、横浜市立大学とその関連で19年間、手術と学術活動に追われる日々を過ごしてきました。このたび岡山大学時代の友人に誘われ、大学を離れ、新たなチャレンジで6月からイムス三芳総合病院で勤務することとなりました。

私が外科医になった30年前は、80歳以上の患者さんが手術を受けることは、極めてまれでした。しかし、日本は医療の進歩とともに平均寿命が世界1位となり、高齢化が急速にすすむにつれ、80歳以上の患者さんも胃癌・大腸癌の手術を受けるようになりました。しかし、高齢者は手術によって、以前のような元気な状態で退院できない方もいます。私は、病気の治療だけでなく、健康寿命の観点で退院後の生活も考え治療法を決めています。

私の外科医としてのモットーは、患者さんにとっては『一生に一回の手術』です。

●専門分野

胃、大腸の手術・化学療法、消化器外科手術、腹腔鏡手術

●所属学会・資格

医学博士（岡山大学/日本外科学会専門医・指導医/日本消化器外科学会専門医・指導医/日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医/日本内視鏡外科学会技術認定医（胃）/日本がん治療認定医機構がん治療認定医/身体障害者福祉法第15条指定医/日本緩和ケア学会緩和ケア研修会修了/臨床研修指導医養成講習会修了/プログラム責任者養成講習会修了

消化器外科

坂田和規 さかた かずき

手術の要否など見極めが難しい場合を含む急性期の対応をはじめ、患者様やご家族との信頼関係を第一にした質の高い周術期管理を提供します。地域住民の健康を支える医療提供の一助として努めています。消化器疾患で悩ましいことがありましたら、気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

●専門分野

下部消化管、鼠経ヘルニア

●所属学会・資格

日本外科学会/日本消化器外科学会/日本臨床外科学会/日本癌治療学会/日本大腸肛門病学会/日本内視鏡外科学会/日本ロボット外科学会/日本ヘルニア学会/内痔核治療法研究会/外科専門医/消化器外科専門医/消化器がん外科治療認定医/Certificate of da Vinci Technology Training as a First Assistant/四段階注射法講習会修了/TNT ((Total Nutrition Therapy) 研修会修了/緩和ケア研修会修了/がんのリハビリテーション研修

泌尿器科

横田和樹 よこた かずき

泌尿器科

Urology

このたび2025年7月より、イムス三芳総合病院泌尿器科に着任いたしました、横田和樹と申します。現在、泌尿器科専攻医2年目として研鑽を積んでおります。

これまでの初期研修および専攻医1年目の経験を通じて、泌尿器科の幅広い分野に触れ、日々その奥深さと重要性を実感しております。前立腺疾患、尿路結石、膀胱機能障害、泌尿器悪性腫瘍に対する内視鏡手術やロボット支援手術など、多様な疾患に対する診療技術と知識の習得に努めてまいりました。

近年高齢化の進行に伴い泌尿器科領域の疾患は増えており、地域医療においてその重要性はますます高まっていると実感しております。微力ながら、地域の医療に貢献できるよう力を尽くす所存でございます。また、地域の先生方や医療スタッフの皆さまとの連携を大切にしながら、患者さま一人ひとりに寄り添った、丁寧で誠実な診療を心がけて参ります。

皆さまのお力を借りしながら成長していければと存じます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

●専門分野

泌尿器一般

特定健診のご案内

10月～11月は大変混雑が予想されます

当院では特定健診・がん検診の予約を受付中です。

今年度の国民健康保険による特定健診の実施期間は、2025年6月1日から11月30日までとなっております。

例年、締め切りが近づくにつれて、駆け込みでの受診希望者が増加する傾向がございます。

そのため、ご予約の受付が終了してしまう可能性もございますので、ぜひお早めのご予約をお願いいたします。

■ご予約について（事前予約制）

直接ご来院いただいた際の受付窓口でのご予約も可能ではございますが、予約済みの患者様を優先させていただいておりますため、長時間お待ちいただく場合がございます。できるだけお電話でのご予約をおすすめいたします。

■その他健診対応について

当院では、各種ドック、乳がん検診、企業健診・個人健診（雇入れ時・定期健診など）など、幅広い健診に対応しております。

ホームページに掲載されていない健診項目につきましても、対応可能かどうか検討いたしますので、まずは当院健診センターまでお気軽にご相談ください。

—基本 検査項目—

- 問診
 - 身体測定（身長・体重・腹囲・BMI）
 - 血圧（収縮期・拡張期）
 - 血液検査
 - 脂質（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール）
 - 肝機能（GOT・GPT・γ-GTP）
 - 血糖（空腹時血糖・HbA1c）
 - 貧血（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット・白血球数）
 - 腎機能（血清クレアチニン・eGFR・尿酸）
 - 尿検査（尿糖・蛋白・潜血）
 - 心電図
 - 眼底検査（実施には条件あり）
- がん検診と同時受診が出来ます。

ご予約・お問い合わせ

049-265-3191(健診直通)／049-265-3191(FAX)

三芳町循環ワゴン 「MIYOバス」

令和7年10月1日(水)より「MIYOバス」の循環ワゴンの実証運行を開始します。運行についての詳細は三芳町ホームページをご確認ください。

当院にも停留所が設けられましたので、ぜひご活用ください。

■Aコース(上富・鶴瀬駅方面)

「イムス三芳総合病」下車

■Cコース(竹間沢・みずほ台駅方面)

「イムス三芳総合病」下車



予防接種のご案内

● インフルエンザ

令和7年10月3日(金)よりインフルエンザ予防接種を開始します。

予約制ですので、事前にお電話または「総合受付」にてご予約をお願い致します。

予約受付時間(総合受付)

【月～金】9:00～11:00 14:00～16:00

【土】9:00～11:00

予約受付番号 ▶ 049-258-2323(代表)

● コロナ

令和7年10月6日(月)よりコロナワクチン予防接種を開始します。

完全予約制ですので、事前にお電話または「健診受付」にてご予約をお願い致します。

予約受付時間(健診受付)

【月～金】月～金 14:00～15:00

予約受付番号 ▶ 049-265-3191(健診直通)



看護部のインスタグラム
はじめました。



フォロー
お待ちしています。



24時間救急対応

お問い合わせ先 049-258-2323(代)

救急の場合は24時間体制で、できる限り対応しております。 診察可能かどうか必ずお電話で確認してください。



イムス三芳総合病院

埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3